

EPSON

製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-PU2220S

EB-PU2120S

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver. 2.60 の概要 4

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.60)	4
メニュー項目に関する変更 (Ver. 2.60)	4

ファームウェア Ver.2.70 の概要 5

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.70)	5
操作方法に関する変更 (Ver.2.70)	5

ファームウェアの変更詳細について 6

ソフトウェアに関する変更の詳細 (Ver. 2.60) 7

Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management	7
---	---

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver. 2.60) 8

EPMC監視制御	8
Monitor パスワード	8
コマンド通信	8
Crestron XiO Cloud	9

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.70) 10

スタッキング (カメラアシストV200)	10
スクリーンマッチング (カメラアシストV200)	10
スタッキングが長焦点レンズに対応 (カメラアシストV200)	10
プロジェクターとの接続に使用するケーブル	10

付録 11

一般のご注意 12

ご注意	12
商標について	12
著作権について	12

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクトの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

► 関連項目

- ・「ファームウェア Ver. 2.60 の概要」 [p.4](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.70 の概要」 [p.5](#)

ファームウェア Ver. 2.60での変更の概要を説明します。

- 「Crestron XiO Cloud」 [p.9](#)

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.60）」 [p.4](#)
- 「メニュー項目に関する変更（Ver. 2.60）」 [p.4](#)

ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.60）

Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management

取扱説明書の説明が更新されました。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management」
[p.7](#)

メニュー項目に関する変更（Ver. 2.60）

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] を追加
- [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] メニューに [Monitorパスワード] を追加
- 取扱説明書の [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [コマンド通信] に関する説明を更新
- [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] メニューに [Crestron XiO Cloud] を追加

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 [p.8](#)
- 「Monitor パスワード」 [p.8](#)
- 「コマンド通信」 [p.8](#)

ファームウェア Ver.2.70での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.70）」 [p.5](#)
- ・「操作方法に関する変更（Ver.2.70）」 [p.5](#)

ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.70）

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- ・ Epson Projector Professional Tool Ver. 1.60

詳しくは『Epson Projector Professional Tool 操作ガイド』をご確認ください。

操作方法に関する変更（Ver.2.70）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・本バージョンでは、カメラアシストV200をサポートしています。詳しくは以下を参照してください。

https://download2.ebz.epson.net/sec_pubs_visual/camera_assist/JA

▶ 関連項目

- ・「スタッキング（カメラアシストV200）」 [p.10](#)
- ・「スクリーンマッチング（カメラアシストV200）」 [p.10](#)
- ・「スタッキングが長焦点レンズに対応（カメラアシストV200）」 [p.10](#)
- ・「プロジェクターとの接続に使用するケーブル」 [p.10](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアに関する変更の詳細（Ver. 2.60）」 [p.7](#)
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver. 2.60）」 [p.8](#)
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.70）」 [p.10](#)

ソフトウェアに関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management」
[p.7](#)

Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management

プロジェクター登録時の認証方法に関する取扱説明書の説明が更新されました。

変更前（Ver. 1.00）

Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management

Epson Projector Management ConnectedとEpson Projector Management（Windowsのみ）は、ネットワークに接続されたプロジェクターを監視・制御するためのソフトウェアです。

Epson Projector Management Connectedはプロジェクターの情報をクラウドサーバー上で管理するため、どのデバイスからでも遠隔で監視・制御ができます。

Epson Projector ManagementはWindows専用ソフトウェアで、コンピューターから同一ネットワーク内のプロジェクターの監視・制御ができます。お客様の使用環境や使用目的に応じていずれかをお選びください。

詳しくは以下のWebサイトでご確認ください。

<https://www.projection-service.epson.com/epm-connected/>



プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。

変更後（Ver. 2.60）

Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management

Epson Projector Management ConnectedとEpson Projector Management（Windowsのみ）は、ネットワークに接続されたプロジェクターを監視・制御するためのソフトウェアです。

Epson Projector Management Connectedはプロジェクターの情報をクラウドサーバー上で管理するため、どのデバイスからでも遠隔で監視・制御ができます。

Epson Projector ManagementはWindows専用ソフトウェアで、コンピューターから同一ネットワーク内のプロジェクターの監視・制御ができます。お客様の使用環境や使用目的に応じていずれかをお選びください。

詳しくは以下のWebサイトでご確認ください。

<https://www.projection-service.epson.com/epm-connected/>



Epson Projector Managementをお使いのときは、プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。

- Epson Projector Management Ver. 5.30、またはそれ以前： [Monitor パスワード]
- Epson Projector Management Ver. 5.40、またはそれ以降： [Web 制御パスワード]

最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「EPMC監視制御」 p.8
- ・「Monitor パスワード」 p.8
- ・「コマンド通信」 p.8
- ・「Crestron XiO Cloud」 p.9

EPMC監視制御

[ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] が追加されました。

変更前の [ネットワーク] メニュー（Ver. 1.00）

設定項目なし。

変更後の [ネットワーク] メニュー（Ver. 2.60）

☛ [ネットワーク] > [EPMC監視制御]

[EPMC監視制御] を [オン] にして必要な項目を設定すると、Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connectedクラウドサーバーと直接通信できます。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご確認ください。

<https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/JA/index.html>

Monitor パスワード

[ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] メニューに [Monitor パスワード] が追加されました。

変更前の [基本設定] メニュー（Ver. 1.00）

設定項目なし。

変更後の [基本設定] メニュー（Ver. 2.60）

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Monitor パスワード]

Ver. 5.30、またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用するときや、スイッチャーやコントローラーと組み合わせてプロジェクターを監視するときの認証用パスワードを設定します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）

- ・ [コマンド通信] が [互換] のときに設定できます。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [コマンド通信]
- ・ [Monitor パスワード] はスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。
- ・ 半角英数字、最大16文字で入力します（@以外の記号とスペースは使用不可）。

コマンド通信

取扱説明書の説明が更新されました。

変更前（Ver. 1.00）

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [コマンド通信]

コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

プロジェクト

ダイジェスト認証を用いて「[Web制御パスワード]」で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

互換

「[Monitor/パスワード]」（半角英数字で16文字以内）を用いた平文認証を行うときに選択します。



Ver. 5.30、またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用するときや、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは「[互換]」を選択してください。

変更後（Ver. 2.60）

➡ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [コマンド通信]

コンピューターやコントローラーなどの外部機器から、ネットワーク経由でプロジェクターとコマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

プロジェクト

ダイジェスト認証を用いて「[Web制御パスワード]」で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

互換

「[Monitor/パスワード]」（半角英数字で16文字以内）を用いた平文認証を行うときに選択します。



- Ver. 5.30、またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用するときや、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは「[互換]」を選択してください。
- 「[Monitor/パスワード]」はスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。
➡ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Monitor/パスワード]

Crestron XiO Cloud

[ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] メニューに「[Crestron XiO Cloud]」が追加されました。

変更前の「[その他]」メニュー（Ver. 1.00）

設定項目なし。

変更後の「[その他]」メニュー（Ver. 2.60）

➡ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [Crestron XiO Cloud]

「[オン]」にすると、Crestron XiO Cloudを使用してプロジェクターやその他のさまざまな機器の監視と制御ができます。複数の機器を一元的に管理することができます。詳細は以下をご覧ください。

<https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud>

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶関連項目

- ・「スタッキング（カメラアシストV200）」 [p.10](#)
- ・「スクリーンマッチング（カメラアシストV200）」 [p.10](#)
- ・「スタッキングが長焦点レンズに対応（カメラアシストV200）」
[p.10](#)
- ・「プロジェクターとの接続に使用するケーブル」 [p.10](#)

スタッキング（カメラアシストV200）

Epson Projector Professional Toolの幾何学歪み補正アシストスタッキング機能では、投写面タイプの追加と改善が行われました。

- ・スタッキング（カメラアシストV200）では、投写面タイプに【複雑面】が追加されました。ビル壁面などに投写する場合には【複雑面】を選択してください。
- ・すべての投写面タイプにおいて、設置性や操作性の向上を行いました。
 - ・1台のカメラで実行可能。（レイヤー1にするプロジェクターに接続）
 - ・外付けカメラを専用金具ではなく三脚に取り付けて、任意の場所にカメラを設置可能。
- ・自動調整の失敗を回避するために、カメラの撮影範囲を設定可能。
- ・自動調整の失敗を回避するために、自動調整中に投写する専用パターンの投写範囲を設定可能。

スクリーンマッチング（カメラアシストV200）

Epson Projector Professional Toolのスクリーンマッチング機能の操作性が改善されました。

- ・カメラアシストV200対応機種では、黒色補正の実行有無を選択できます。
- ・黒色補正の調整パラメーターの中から適切な調整結果を選択できます。

スタッキングが長焦点レンズに対応（カメラアシストV200）

Epson Projector Professional Toolの幾何学歪み補正アシストスタッキング機能では、三脚に設置した外付けカメラ（ELPEC01）と、延長ケーブルを使用することで、長焦点レンズが使用可能になりました。

- ・ELPLL08

プロジェクターとの接続に使用するケーブル

プロジェクターとUSB機器の接続の際に、市販のUSB延長ケーブルなどを使用できるようになりました。

- ・延長可能な長さは、市販のケーブルに記載された指示に従い設定してください。
- ・市販のケーブルで通信距離を延長する場合は、事前に動作確認を十分に行い、お客様の責任においてご使用ください。
- ・全ての市販のケーブルでの動作を保証するものではありません。

付録

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- ・「一般のご注意」 [p.12](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- ・「ご注意」 [p.12](#)
- ・「商標について」 [p.12](#)
- ・「著作権について」 [p.12](#)

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

MacおよびmacOSは、Apple Inc.の商標です。

Crestron XiO Cloud®は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2024 Seiko Epson Corporation

Rev.01 2025.07 JA